

戦争への道ふさごう



記者会見する作家の澤地久枝さん(右から2人目)など
九条の会の人たち 11月8日

明文改憲「九条の会」が抗議発言

安倍晋三首相が国会で、憲法9条2項の改定に繰り返し言及し、「国防軍の創設」まで主張しています。戦力不保持を規定した9条2項は改憲の核心。解釈改憲で戦争法を強行し、今度は

明文改憲に踏み込むという重大事態です。

「九条の会」は「自らの憲法擁護義務を全くわきまえない」発言だと断固抗議する緊急アピールを発表しました。

「ご都合主義の改憲論」メディアも批判 安倍首相は「7割の憲法学者が自衛隊に憲法違反の疑いを持っている状況をなくすべきだ」という考えもある」と言いたい放題です。「憲法学者と言うなら、95%の憲

法学者が『反対』『違憲』と言っている戦争法をなくすべきです」。共産党の志位委員長はキッパリ批判しました。メディアも「ご都合主義の改憲論だ」(東京新聞4日付)と指摘しています。

参院選の予定候補

【比例代表】

大門みきし



【選挙区】



わたなべ 結



金田 峰生



大河原 としたか



佐藤 こうへい



いずみ 信文



坂口 多美子

制度解説

参院選挙
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
選挙区は「**候補者の名前**」で

参議院比例代表は政党名でも個人名でも投票できます

戦争法^{安保法制}廃止の政府を

戦争法(安保法制)を廃止し、立憲主義を回復する。
その課題を実行する政府をつくる。
そのための野党の選挙協力を
——日本共産党のよびかけが大きな反響をよんでいます。
戦争NO、民主主義YESという野党と国民の共同で
安倍政権をたおしましょう。



立憲主義の回復が最優先
小林 節 慶応大名誉教授

独裁政治をつぶして、立憲主義を立て直し、平和主義と民主的な議会制度を回復する。これがすべてに優先します。

(インターネット番組「とことん共産党」15年9月28日)

「本気」に情熱を感じた
香山リカ 立教大学教授

志位委員長が講演などで何度も「本気」という言葉を使っていて、パッション(情熱)を感じました。

(「しんぶん赤旗」日曜版 15年11月29日号)

虚心坦懐に力を合わせて
瀬戸内寂聴 作家・僧侶

たいへん結構です。野党がまとまって力を強くしないとダメですね。お互いに虚心坦懐に力を合わせてほしい。

(「しんぶん赤旗」日曜版 15年9月27日号)



12万人が国会を包囲(15年8月30日) 日本共産党のホームページより

日本共産党

近畿民報

2016年2月 No.3(第224号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06 (6975) 9111 Fax.06 (6975) 9115
Eメール: jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。